

# 令和6年度 第10回美里地域会議 会議録

日時：令和7年1月9日（木）19時～19時55分

場所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、  
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、豊田 博久、  
中島 康隆、野村 耕一、松村 洋、丸石 敏憲、望月 英光、  
森口 美代子、山本 由和、吉本 勝  
（欠席）濱野 敏子

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

## ＜内容＞

### 1 豊田市民の誓いの唱和

### 2 会長挨拶

### 3 提言について（協議）

前回の協議内容を踏まえ、提言に向けて会長から次の2点を提案した。

- ① 「要介護・要支援認定前の高齢者が抱える課題」に焦点をあてて提言する。
- ② 令和4年度に地域会議が実施したアンケートでは、①の課題を正確に把握することが困難であるため、要介護・要支援認定前の高齢者が抱える課題を正確に把握するための取組自体を提言の核とする。具体的には、要介護・要支援認定前の高齢者が抱える困りごとのアンケート調査を、専門家の助言を受けながら実施できるよう市に予算化してもらい、地域ではアンケート内容や対象者の検討を行ったり、実際の配布事務などを担ったりする。  
このアンケートで把握した課題の解決策を、次期美里地域会議委員に、市へ提言してもらう。

会長からの提案に対する反対意見なし。これまで協議した内容を提言書第1案として次回会議までに事務局がまとめ、2月以降の会議にて提言書完成に向けて協議する。

## 【意見】

- （望月委員）自治区に協力をお願いすることになると思うが、アンケート実施後の地域へのフィードバックが重要。アンケートをやること自体は賛成。
- （吉本委員）要介護・要支援認定前の高齢者への取組として、既存の介護予防事業があり、スポーツ・健康、趣味、就労などの分野で取り組まれている。アンケートをうまく作らないと、高齢者が真に困っていることを拾えない。専門家の意見や、他地区の事例を参考にしたい。要介護未認定だが認知症の人もいるので全員から回答を集めるのは難しいと思うが、同居家族にもご協力いただき、最低でも3～4割は回収したい。このアンケートの回答が集まれば、美里地区の高齢者の困りごとを集約できる。
- （野村副会長）親の介護をしたとき、ケアマネジャーから話を聞いて初めて知った制度がたくさんあった。制度を知らせることが大切。
- （松村会長）記述式アンケートだと回答してもらえない可能性が高い。選択方式で、その項目をしっかりと作りこむことが大切。専門家の助言を受けて、意見がしっかり拾える選択項目としたい。
- （望月委員）情報が無いので、地域会議でアンケート回答対象者（介護・支援を受けていない人）の抽出をすることは困難。現実的にできるのか。

- (事務局) 地域会議では、「どのような対象者にアンケートを取りたいか」を決めてもらえればよい。対象者の抽出作業は市の役割として担うことができる。
- (鈴木委員) 今後のスケジュール感は。最終的な落としどころを地域会議の中で合意しておく必要があるのでは
- (事務局) 提言内容について本日の会議で合意形成できれば、これまでの協議内容をまとめた提言書の第1案を来月の会議で事務局から提示する。提言書の内容を2～3か月かけて協議してもらい、その後、市長へ提言することになる。提言後、予算の確保や委託業者の選定を市で行うが、その手続には最低4箇月ほどかかる見込み。現在の委員の任期は、令和8年3月までなので、それまでにアンケート結果を提示できない可能性もある。
- (吉本委員) 令和4年度のアンケートは区長会に依頼したようだが、今回は民生委員に協力してもらえないか。交流館のカフェなども活用できそう。紙での回答に加えて、スマホで回答できるようにするのも良い。
- (野村副会長) 反対意見はないようなので、アンケート実施について提言することは、決定とする。他に、追加の意見はないか。
- (清水委員) 金銭的問題で困っている高齢者もいると聞いた。内容的に相談しにくいようだ。民生委員は、困りごとをつかんでいる。組長にお願いしたり、組の中でよく話せる人をお願いしたりして、本音が聞きだせると良い。
- (岡本委員) 回答を集計するのが大変なので、できるだけデジタル化できると良い。また、アンケート作るときは、結果をイメージして作る必要がある。令和4年度のアンケートは、自治区ごとに配布・回収を行ったため、アンケートの回答内容を地域の人に見られてしまうことがあった。次回は、回答内容が人に見られないようにできると、より本音で回答してもらえるのではないか。
- (野村副会長) アンケートを取る際は、民生委員や元気アップに取り組んでいる人などに協力を依頼したい。
- (望月委員) 前回提言した公園を活用した地域住民の交流促進も地域会議として進めていかないといけない。モデルに選定された公園・広場以外の場所への今後の展開はどうなっているのか。私たちの自治区はモデルに選ばれていないが、地域会議との連携をもちながら、当自治区でも公園の改良を進められるように、次年度の自治区計画に入れていこうと考えている。令和5年度に、美里地区区長会としても、公園がより住民に活用されるように改良に向けて動いていた。地域課題解決事業と連携して進められると良い。
- (事務局) 地域の課題とその解決策を提言することまでが地域会議委員の役割であるため、昨年度提言していただいた交流事業については、現在地域会議委員の手を離れ、モデルとなった自治区と市とで事業を進めている。令和7年度はモデル公園・広場の改良を優先して進めるため、その他の公園への展開は難しい。モデル公園・広場で良い事例ができれば、将来的には、モデル以外の自治区への展開も検討あり、その際に声を掛けさせていただく。
- (岡本委員) 区長が毎年変わる自治区もあるので、まずは既存制度でできることを、分かりやすく区長へお知らせしてほしい。
- (事務局) 望月委員からの指摘は、地域課題解決事業がどうあるべきかという指摘だと思う。美里地区からの提言なので、モデルに選ばれたところだけ改良して終わりではなく、広く美里全体に広げるべきであるが、その広げ方について明確に決まっているわけではない。事業を延長し、追加でモデル公園・広場を選定してワークショップを開催することもできるが、地域とし

ての意向もあるので、事業の共働の相手である、区長会と相談して決めていくことになる。まずは、現在選定されているモデル公園・広場の事業を丁寧に行い、その先の話である。

岡本委員から指摘があった既存制度の紹介については、4月に定例的に行っている説明会とは別で、地区区長会向けに説明会を実施することは可能。

#### **4 事務連絡**

##### **(1) 令和6年度 第11回美里地域会議について**

- ・日 時 令和7年2月13日(木) 午後7時～
- ・場 所 美里交流館 多目的ホール

##### **(2) わくわく事業関連スケジュールについて(情報提供)**

- ・令和6年度成果発表資料提出期限：令和7年1月17日(金)
  - ・令和7年度わくわく事業申請期限：令和7年1月24日(金)
- 新規でわくわく事業を申請したい場合は、高橋支所へ相談する。